

# 他施設への出向透析

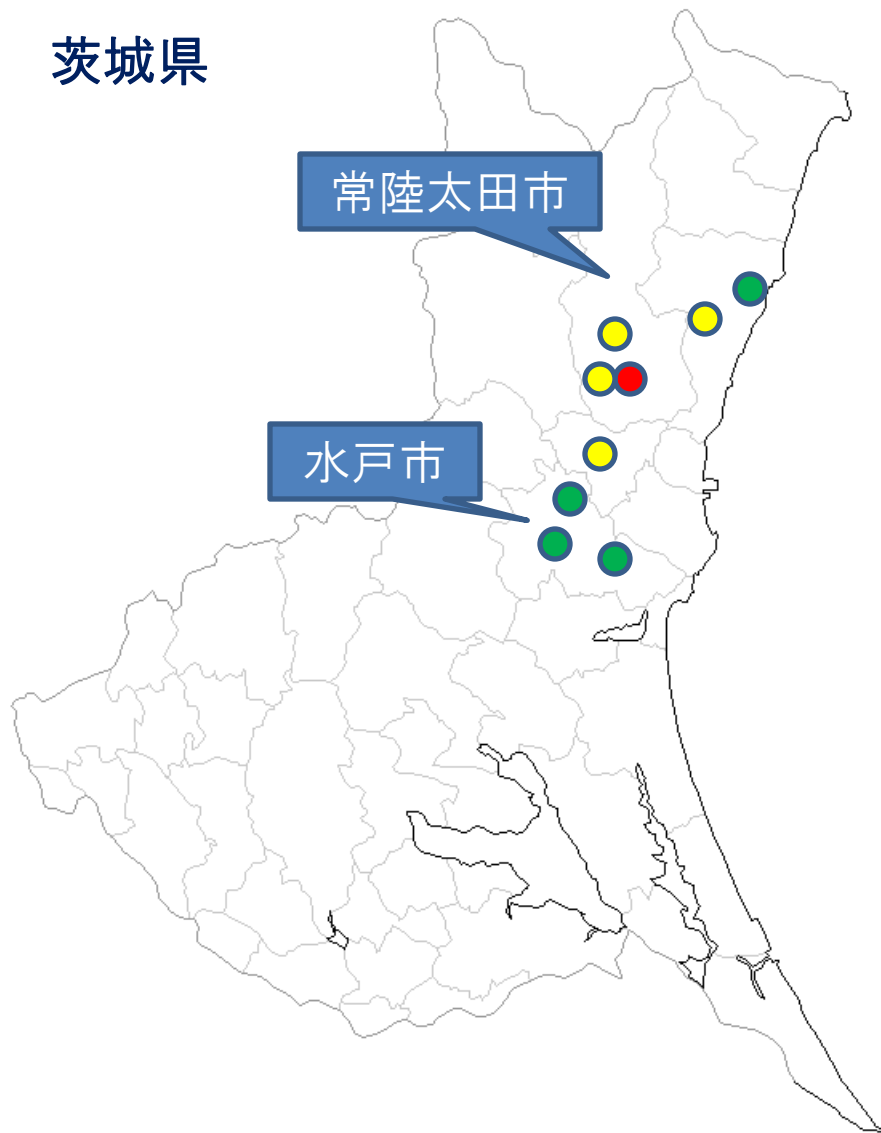
太田ネフロクリニック  
○山中祐治 酒井伸一郎

# 【はじめに】

当院では、他施設に出向く透析（出向透析）を行っている。透析設備のない施設に腎不全を合併している患者が入院した場合や、当院の維持透析患者がその施設に入院した場合などが対象である。

# 当院と他施設との位置関係

茨城県



- 当院
  - ・ 透析装置 96 台
  - ・ 維持透析患者 172 名

- 透析設備がない専門病院
  - ・ 200m 脳神経外科
  - ・ 5km 胃腸科外科
  - ・ 12km 脳・循環器科
  - ・ 18km 地域中核病院

- 透析設備がある総合病院
  - ・ 22kmから35km

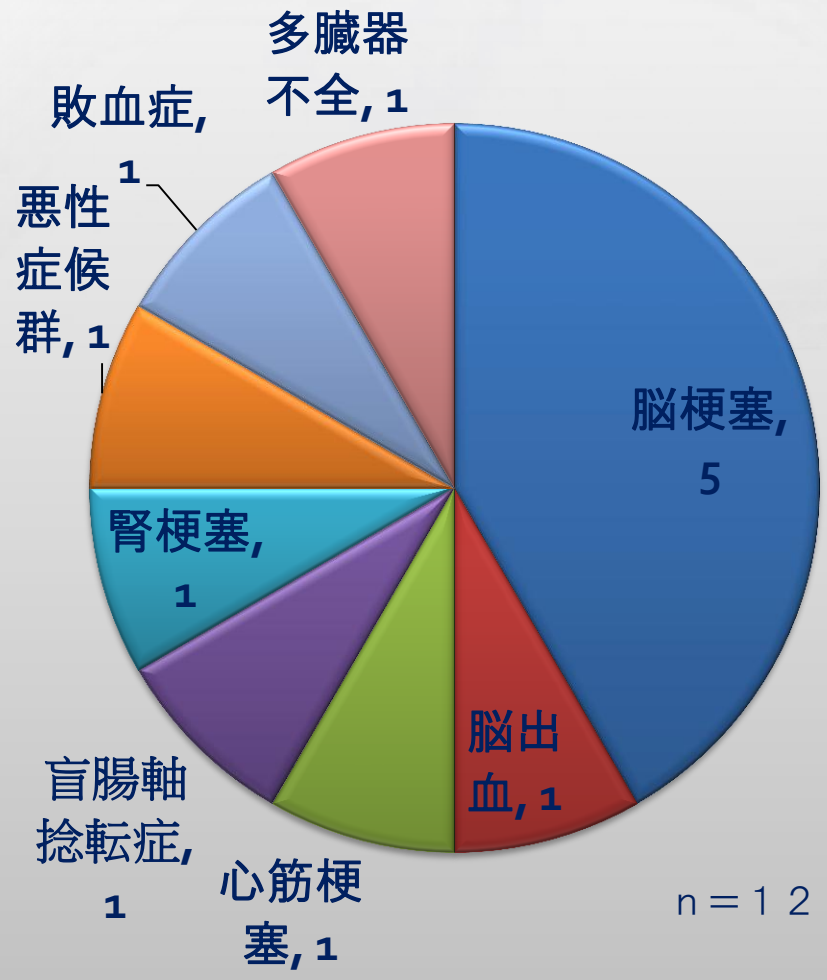
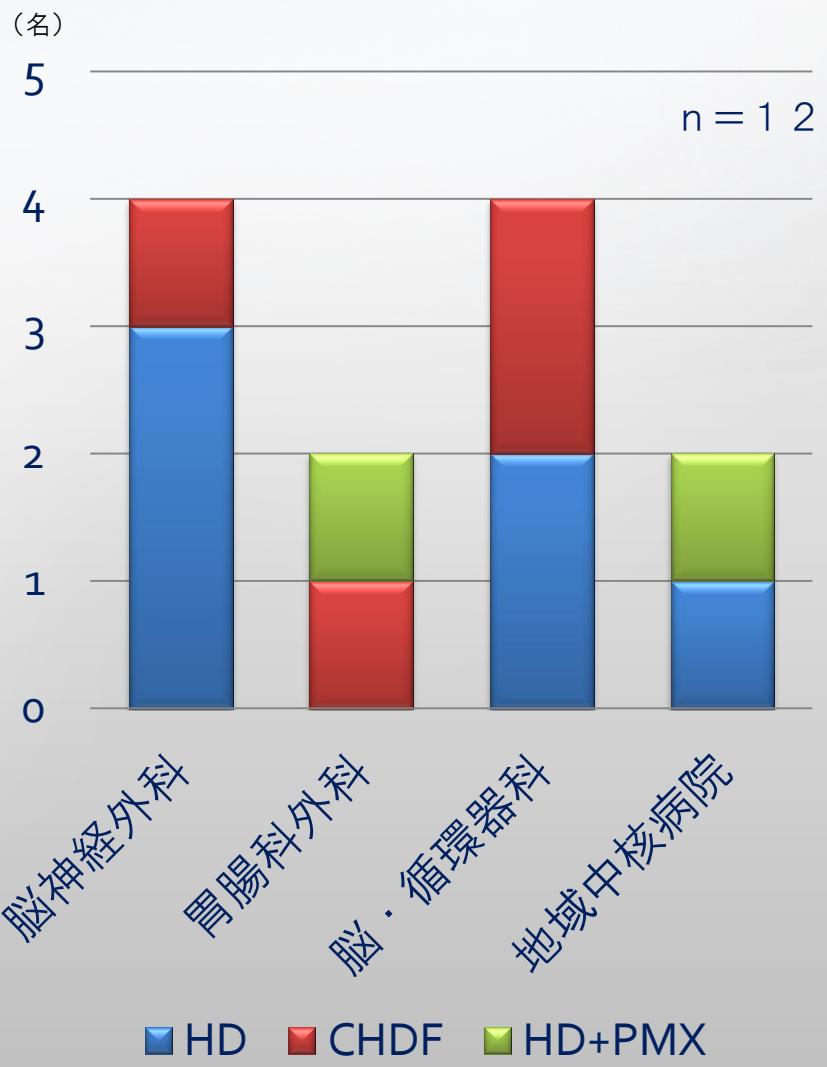
# 【現況】

平成18年10月の開院から現在に至るまで、4施設12名の腎不全患者に対して出向透析を行った。

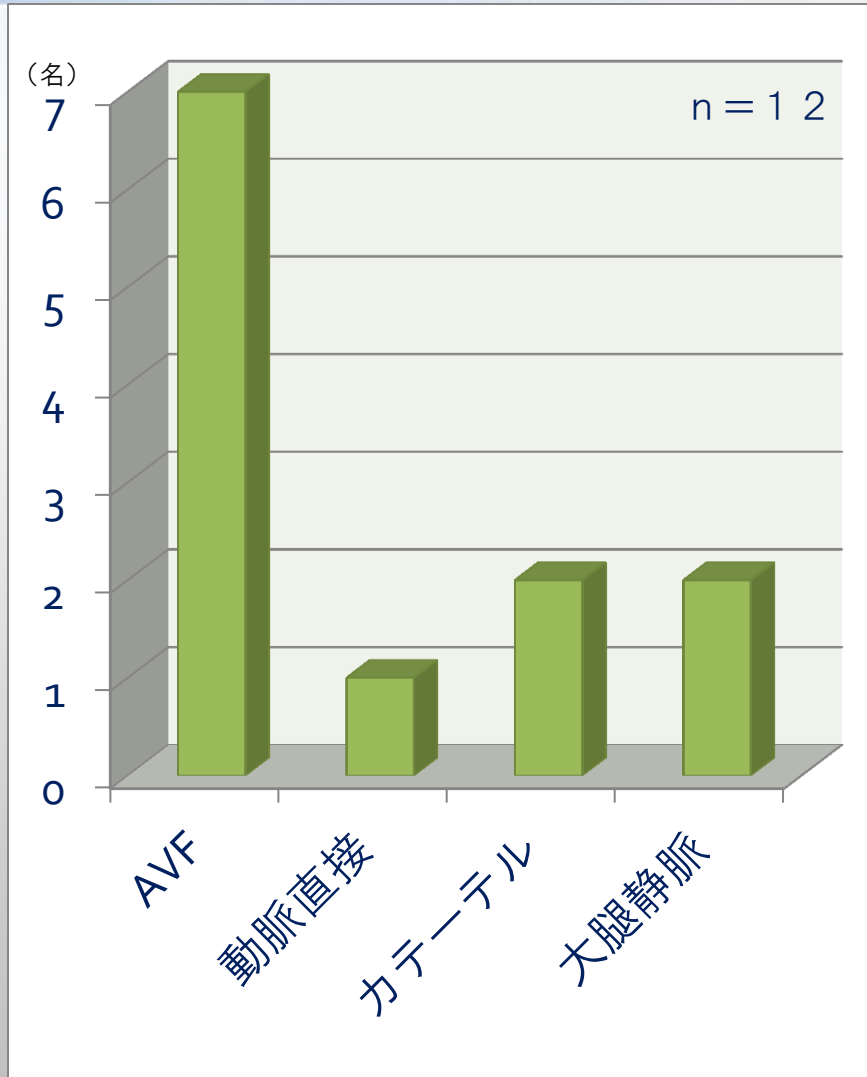
HD 6名、CHDF 4名、HD+PMX 2名である。治療場所は個室一般病棟7名、集中治療室5名である。

# 各施設の血液浄化療法

# 各疾患

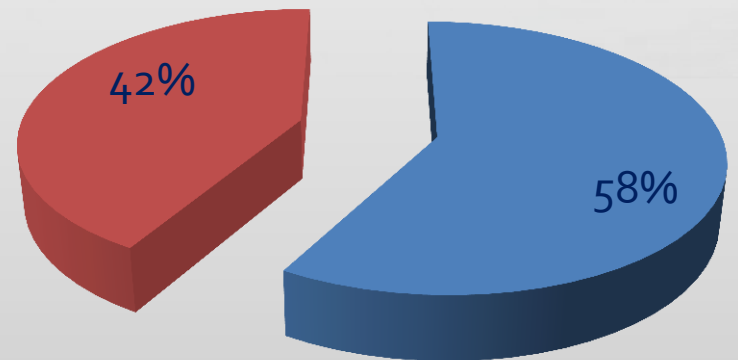


# バスキュラーアクセス



# 患者割合

- 当院の透析患者
- 他施設の腎不全患者



平均 4.8回/人

移動にリスクを伴う急性期のみ

# ケース 1 : 70歳 男性

脳幹部梗塞にて脳神経外科専門病院に搬送される。

悪性症候群と診断。

急性腎不全を合併。腎機能低下。

血液透析の依頼。CHDF施行。

# ケース 2 : 79歳 男性

(当院の維持透析患者)

発熱と腹痛を訴え、血圧低下。

腸閉塞の疑いで、近隣の胃腸科  
外科専門病院へ緊急搬送。

盲腸の軸捻転により壊死を認め、  
回盲部切除術。

入院期間中のHD + PMX 施行



## 【方法】

ニプロ社製個人用透析装置（NCU-12）と三菱レイヨン・クリンスイ社製個人透析用RO装置（MRE-NFX）を用いてHDを、クラレ社製血液浄化装置（KM-8700）を用いてCHDFを行っている。



96台の透析装置のうち、1台の個人用透析装置を自閉式カプラにて取り外し可能としている。



当院の患者送迎車を利用し透析装置と使用物品の搬入を行い、医師と主に臨床工学技士1名が対応に当たっている。



洗面台の蛇口にアダプターを取り付け、RO装置と透析装置を接続する。



体重測定は、ストレッチャー式体重計  
(スケールトロニクス2001) を使用している。

# 【考察 1】



- 使用蛇口の形状に合わせて対応出来るよう、アダプターを多種用意する。
- RO装置が設置出来ない場合（水道設備がない・蛇口形状が特殊・自動水洗など）がある。



アダプターの取り付けが出来ない蛇口



## 【考察 2】

- 現場において透析液の組成確認など、出来ない場合があるので、日常点検や定期点検は重要である。
- 必要機材はチェックリストを利用して施設へ確認し、持ち込む機材を最小限にする。
- 申し送りは血液浄化情報書を作成し、利用している。

## 血液浄化情報書

患者名		Dr (            )	技士 (            )
施行日	/            (    )	バイタル	
血液浄化法		血圧	
時間	:    ~    :	脈	
バスキュラーアクセス	A (            )	詳細	
	V (            )		
抗凝固剤		除水量	ml
申し送り			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動脈に穿針しましたので、止血の確認をお願いします。</li> <li>・ 夜間の緊急連絡先です。090-××××-××××</li> <li>・ カテーテルのフラッシングをお願いします。方法ですが・・・</li> <li>・ 採血の指示が出ました。項目は・・・です。</li> </ul>			



## 【おわりに】

- 様々な合併症を有する腎不全患者が入院する場合、透析設備の有無が重要であったが、腎不全に対しての治療を当院が行うことにより、近隣の専門病院での治療が可能となる。
- 近隣施設とのネットワークを構築し、緊急時の症例においても迅速に対応している。